

授業科目名 subject	日本語中上級（口頭表現A） 〔Upper Intermediate Japanese (Oral Expression A) 〔A1〕
単位 credit	2単位 (2 Credits)
学期 semester	前期 (I Semester)
曜日 day 時限 period	木曜日 (Thu) 3・4時限 (10:20~11:50)
担当教員 (所属) lecturer (faculty)	笹森 圭子 (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	○基本的な音の聞き取りと発音の基礎が身につく、音の綴り方なども理解できていること ○基本的な文法を理解し、基礎的な語彙が身につくこと ○基本的な表現を使って初歩的なコミュニケーションが可能になること
授業の概要 course description	アカデミックな発表を聞いて理解すること、また自分で発表をし、質疑応答をするために、必要な基礎を勉強するクラスです。
授業の内容予定 schedule of the class	このクラスでは、以下のことを中心に練習を行います。 1. 発表の原稿やメモを作成するための文章表現を学ぶ 2. 学んだ表現等を利用して、ノートをとる練習をする。 3. ノートをとった内容をまとめ、口頭で説明する練習をする。 第1回 授業についての説明、第1部 第1課 (1) 第2回 第1部 第2課 第3回 第1部 第3課 第4回 第1部 第4課 第5回 第1部 第5課 第6回 第1部 第6課 第7回 第1部 第7課 第8回 第2部 第1課・第2課 第9回 第2部 第3課 第10回 第2部 第4課 第11回 第2部 第5課 第12回 第2部 第6課 第13回 第2部 第7課 第14回 第2部 第8課 第15回 期末試験 (1) 第16回 期末試験 (2)
準備学習 (予習・復習) 等 の内容 preparation for class	初回の授業で連絡します。
教材・教科書 text	銅直信子・坂東実子 著『大学生のための文章表現&口頭発表練習帳』(国書刊行会)
参考文献 references	適宜授業内でお知らせします。
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	1. 試験 (模擬発表) 40% 2. 課題 30% 3. 授業への積極性 30%
授業形式・形態及び授業方 法 class format	演習講義とペアワークやグループワークを中心とした演習形式で行います。
留意点・予備知識 remarks	1. 積極的に授業に参加してください。 2. 全体の授業回数の3分の2以上出席しなければ、成績が「不可」となります。 3. 遅刻は授業開始後20分までとし、それ以降は欠席扱いとします。遅刻2回で欠席1回とカウントします。
オフィスアワー Office hour	初回の授業でお知らせします。
Eメールアドレス・HPアド レス E-mail address・HP address	kay*hirosaki-u.ac.jp(*を@に変更してください。)
その他 other	なし

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject	日本語中上級 (作文A) [Upper Intermediate Japanese (Writing A)] 【A5】
単位 credit	2単位 (2 Credits)
学期 semester	前期 (I Semester)
曜日 day 時限 period	金曜日 (Fri) 3・4時限 (10:20~11:50)
担当教員 (所属) lecturer (faculty)	小山 宣子 (国際連携本部)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	○自国の文物や自然の風景などを写真入りで紹介する文を作成できる。 ○自国や他国の同様の文章を読んで理解できる。 ○作文の構成を理解して適切にコメントできる。
授業の概要 course description	各国の観光スポットや、博物館にあるような物を写真入りで紹介する文を5回、また、意見文を2回作成します。 これはレポートを書く時に必要な技能の一つです。 内容は、例に沿ったアウトラインの作成と例に沿った作文作成です。
授業の内容予定 schedule of the class	授業2回で、1つのトピックを扱います。 1 アウトラインの例を読む 2 例文の練習 3 アウトラインを作成し、提出する 4 学生同士の相互コメント 以上で1回 5 作文例を読む 6 例文の練習 7 作文を作成し、提出する 8 学生同士の相互コメント 以上で1回です。 これを7回繰り返す予定です。
準備学習 (予習・復習) 等 の内容 preparation for class	作文作成は授業でも少し行いますが、授業外学修が主です。 提出物はMSWordで作成し、印刷したものを紙で提出します。
教材・教科書 text	プリントを配布します。
参考文献 references	田中・阿部 2014 『Good Writing へのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』くろしお出版
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	アウトライン 30% 作文 50% ピアレビュー 20%
授業形式・形態及び授業方 法 class format	演習講義、グループワーク
留意点・予備知識 remarks	アウトラインや作文が締切に間に合わなかった人は授業に参加できません。
オフィスアワー Office hour	後日お知らせします。
Eメールアドレス・HPアド レス E-mail address・HP address	nobuko(アットマーク)hirosaki-u.ac.jp
その他 other	なし

授業科目名 subject	日本語中上級 (読解A) [Upper Intermediate Japanese (Reading A)] 【A3】
単位 credit	2単位 (2 Credits)
学期 semester	前期 (I Semester)
曜日 day 時限 period	月曜日 (Mon) 1・2時限 (8:40~10:10)
担当教員 (所属) lecturer (faculty)	山崎 達郎 (非常勤講師)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	○専門的な文章を読むための「ストラテジー」を身につけること。 ○専門的な文章を読むための文法知識、構造に関する知識を身につけること。 ○社会科学系の文章に出てくる基本的な語彙の意味が理解でき、文中での使い方がわかるようになること。 ○文章の内容を200字程度で要約できるようになること。
授業の概要 course description	このクラスでは、比較的短めの社会科学系の文章を読みながら、「読解のストラテジー」を学習します。また、文章を要約する練習も行います。
授業の内容予定 schedule of the class	第1回 授業案内、第1課 (1) 第2回 第1課 (2) 第3回 第1課 (3) 第4回 第2課 (1) 第5回 第2課 (2) 第6回 中間テスト (1)、第3課 (1) 第7回 第3課 (2) 第8回 第4課 (1) 第9回 第4課 (2) 第10回 中間テスト (2)、第5課 (1) 第11回 第5課 (2) 第12回 第6課 (1) 第13回 第6課 (2) 第14回 第7課 (1) 第15回 第7課 (2) 第16回 期末テスト
準備学習 (予習・復習) 等 の内容 preparation for class	予習: テキストを読み、練習問題を解いてくること。 課題: 学習した課に出てきた漢字、語彙、文法を復習しておくこと。 学習した課の要約文を作成すること。
教材・教科書 text	一橋大学留学生センター『留学生のためのストラテジーを使って学ぶ文章の読み方』(スリーエーネットワーク)
参考文献 references	必要があれば、授業時に指示します。
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	授業への参加度、課題: 20% 小テスト (クイズ、漢字、文法・語彙): 20% 中間テスト: 30% 期末テスト: 30%
授業形式・形態及び授業方 法 class format	演習基本的に講義形式です。必要に応じてグループワークを行うこともあります。
留意点・予備知識 remarks	予習でわからなかったことがあれば、積極的に質問するようにしてください。
オフィスアワー Office hour	なし
Eメールアドレス・HPアド レス E-mail address・HP address	なし
その他 other	なし

日本語・日本事情 INTERNATIONAL EXCHANGE COURSES

授業科目名 subject	日本語中上級 (文法A) [Upper Intermediate Japanese (Grammar A)] 【A7】
単位 credit	2単位 (2 Credits)
学期 semester	前期 (I Semester)
曜日 day 時限 period	火曜日 (Tue) 3・4時限 (10:20~11:50)
担当教員 (所属) lecturer (faculty)	新川 以智子 (非常勤講師)
授業としての具体的到達 目標 goal of the class	日本語文法の様々な機能を理解し、適切な場面で適切な日本語表現が使えるようになることです。
授業の概要 course description	日本語文法を総合的に整理し、構造や機能を理解した上で、適切な使い分けに向かうための様々な練習を行います。
授業の内容予定 schedule of the class	日本語の構造、品詞の機能、様々な述語の機能など、項目ごとに理解のための課題活動や使用のための練習を行う。他に中級日本語を使いこなすための活動も行います。
準備学習 (予習・復習) 等 の内容 preparation for class	翌週に学ぶ文法事項について意味などを確認したり、習った文法事項についての課題に答えたりします。
教材・教科書 text	当面、購入する教科書は定めず、資料はコピーして配布します。
参考文献 references	中級日本語文法要点整理ポイント20、中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック、他 授業内でも提示
成績評価方法及び 採点基準 method of evaluation	小テスト40%、課題発表、参加度20%、修了テスト40%
授業形式・形態及び授業方 法 class format	演習演習形式で基本的にグループで話し合う形式
留意点・予備知識 remarks	特になし
オフィスアワー Office hour	なし
Eメールアドレス・HPアド レス E-mail address・HP address	なし
その他 other	なし